



道北地域 教育旅行受入推進セミナー

参加費
無料

～地域みんなで協力し、教育旅行受入でファンづくり！～
～縁をつなぎ、笑顔をつなぎ、未来へつなぐ！交流を促進し地域活性化！～

目的

道では、都市と農村の交流を通して、農村地域の理解促進及び関係人口の増加を図るため、教育旅行の受入を推進しています。新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」)まん延の影響により、旅行者の受入人数が大きく減少していましたが、令和5年5月からコロナの感染症法上の位置付けが「5類」に引き下げられ、今後、教育旅行需要の増加が想定されます。

しかし、コロナの影響を受け、旅行需要が落ち込んだことから、受入意欲低下による受入農林漁業者等の減少や、それに伴う受入キャパシティの不足が課題となっています。

このことから、受入農林漁業者等の意欲向上や、広域的な連携による受入キャパシティの増加を図り、教育旅行の更なる受入を推進することを目的として、道北地域において「道北地域教育旅行受入推進セミナー」を開催します。



日時・場所

令和5年8月24日(木) 13:00～15:30(受付12:30～)
名寄市民文化センター 大会議室A(名寄市西13条南4丁目)

参加対象

農林漁業者、農協、漁協、市町村、農業委員会、観光協会、商工会議所、商工会、関係機関、都市と農村の交流に興味ある方等

主催

北海道農政部農村振興局農村設計課

プログラム(予定)

1 開会・挨拶

2 関係機関から講演

「教育旅行受入は何のためにする！？ファンをつくるために、それぞれの立場で何ができるか！」(講師：浜頓別町 農業委員会委員 小川 文夫 氏)

3 地域コーディネーターから講演

「教育旅行の現状と地域ぐるみによる教育旅行受入！
～受入の実施方法と、道北地域の広域による受入の取組を紹介～」
(講師：(有)アグリテック 代表取締役 中田 浩康 氏)

4 道北地域へ教育旅行に来た先生へインタビュー

「道北地域を選んだ理由と、体験・農家民泊した感想について」
(聖隷クリストファー高校(静岡県) 教員 清水 憲 氏)

5 受入農家(実践者)から取組事例紹介

「教育旅行受入で何を伝える！？受入のやりがいと実際に受入した効果について」

- ・取組紹介① 宗万農場 宗万 広美 氏(名寄市)
- ・取組紹介② 古屋農園 古屋 勝 氏(旭川市)

6 質疑応答・情報提供



参加費
無料

参加申込(申込期限:8月21日(月))はこちら








申込期限

申込み期限：令和5年（2023年）8月21日（月）

申込方法

申込みは、次の①～③のうちの方法かでお申込みください

- ①  URLにてアクセスして申込み → <https://www.harp.lg.jp/VL9CC3mz>
- ②  申し込みQRコードにアクセスして申込み  
- ③  FAXでの申込みは、次の各欄に記載しFAX願います

FAXでの参加申込み記入用紙（FAX申込先：011-232-0027）

参加者氏名		電話番号	
職業・お勤め先を記載してください		お住まいの市町村名	



農村地域では、人口減少や高齢化の進行などにより、地域の活力低下が懸念されている中、**教育旅行の受入**は、**農村活性化**をするための**手法の1つ**です！



地域ぐるみで、教育旅行を受入れ！

むらわが農山漁村を知ってもらい、好きになってもらうため、地域ぐるみでファンづくり！



むらわが農山漁村



地元特産品



地域ぐるみで魅力発信

地域資源を再発見！



(例) 農協・漁協の各施設の案内で、特産物の理解の促進



生産現場で農業・漁業の体験！



生産者からの話を聞きながら、実体験！

期待される効果

自分の地域や自分の仕事の魅力を再発見！
→よそものの視点

地域の応援団に！
→リピーター、通信販売やふるさと納税で応援

地域経済の活性化！
→新たな雇用の創出

将来の地域・産業の担い手に！